

## 本年度の成果と今後の課題

本校では、本年度研究主題である「自分の思いをすすんで表現できる児童の育成」に国語の授業における対話の工夫を通して取り組んできた。研究を通して次のような成果と課題が得られた。

### 1 研究の成果

#### 【基本的な力の育成】

○低学年から高学年まで、年間を通して継続的な指導ができた。

○全学級に「話し方名人」「聞き方名人」を掲示し、統一された指導を行うことができた。

#### 【課題の設定】

○学年の実態に合った、必然性のある課題を意図的に設定することができた。

#### 【学習活動の工夫】

○学年や学習課題に応じた人数設定をすることで、話したり聞いたりする活動が円滑に行われた。

○事前に準備されたワークシートや台本があることで、安心して話すことができ、活発に学習活動が行われた。

### 2 今後の課題

#### 【基本的な力の育成】

○6年間を通して、段階的により系統性のある指導をしていくことが必要である。

#### 【課題の設定】

○教師がねらいとする子供の姿を導くために、課題に対する教師の発問を精選する必要がある。

○子供が行う学習の振り返りや自己評価に対して、より明確な視点を示せるとよい。

#### 【学習活動の工夫】

○今回設定した学習活動の工夫について、引き続きよりよい活用法を検討し、他の分科会が提案した工夫も活用することで、「話すこと・聞くこと」の学習の充実を図ることが課題である。